

令和2年度兵庫県高等学校総合体育大会代替大会について

競技部より

1 競技規定と競技方法

- ・ 2020年度日本ハンドボール協会競技規則、及び大会規定によって行う。
- ・ 但し、タイムアウトの請求に関しては準決勝より正規の競技規則を適用するものとし準々決勝までは平成23年度までの競技規則を適用する。
- ・ 男女共トーナメント方式とする。
- ・ 試合時間は全試合25分ハーフとする。
時間内に勝敗が決定しない場合には、決勝戦のみ第2延長まで行い、他は第1延長までとする。延長戦は5分ハーフとする。なお勝敗が決定しない場合は7mスローコンテスト（5人制）とする。
- ・ ボールはミカサとモルテンの検定球を使用する。

2 参加手続きとエントリーの変更・追加

- ・ 3年生の選手を必ず含むこと。（1、2年生のみからなるチームは不可）
- ・ 各校顧問は別紙大会参加同意書を大会終了まで必ず保管すること。
- ・ 大会参加申込書に記載されていない選手は、試合に出場することはできない。
- ・ 大会参加申込書の提出期日以後、これを変更・追加する場合、大会初日より1週間前までに、エントリー変更・追加届け（様式1）を本部事務局まで提出のこと。

3 組み合わせ抽選について

- ・ 抽選は各地区委員長による代理抽選とする。
- ・ 令和元年度県新人大会第4位までのチームを4シードとする。ただし、対象チームが出場しない場合は、順次繰り上げでシード権を与えるものとする。

4 試合に際しての注意

- ・ 試合会場に到着すると必ず大会本部へのコールを行い、当日の諸注意を確認すること。
- ・ **会場への入場はチーム選手20名、役員4名以内までとする。**
- ・ 監督は試合開始前に自チームメンバーの点検後、記録シートにサインをして下さい。監督、役員は役員カード（A～D）を付けること。（大会参加申し込み時の登録役員以外はベンチ入りできない）
- ・ ユニフォームは必ず濃淡2色を準備すること。特にGKは他の選手と同色にならないように注意すること。
- ・ 靴下やアンダーウェア等の装具については、（公財）日本ハンドボール協会競技本部、審判委員会の定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」の定めるところとする。
- ・ はちまきについては、ゴムバンド式で薄く幅広くないものは許可する。しかし、はちまきは伸縮性でなく、結び目から垂れた部分が危害を及ぼす可能性があるため、使用不可ではあるが、使用に支障がないと認めれば使用を認める

る。そのため、試合前のトスで確認し決定する。（垂れ下がり部分や結び目の部分を確認する：高体連専門部独自）

（「はみ出る」とは、「ユニホームチェックの際に見えていない事」とする）

- ・ 背番号の配色はユニフォームの色と同系色にならないようにし、明確に背番号がわかること。
- ・ 試合前のコートでの練習場所は原則として記録席から見て左側を組合せ表の上のチーム、右側を組合せ表の下のチームが使用すること。
- ・ ベンチの対面に時間表示がない場合は、コーチングゾーンを超えて時間の確認することを認める。
- ・ メンバー表の提出は第1試合の場合は30分前、第2試合以降からは前の試合のハーフタイム時に自チームの試合コートの記録席に提出すること。その時にユニフォーム（CP用2色、GK用2色）を持参し着用ユニフォームを決めること。
- ・ チーム役員の衣服は相手コートプレイヤーと同色でないこと。
- ・ 試合は必ず体育館専用シューズを用意すること。（アウトシューズを雑巾で拭くことは許可しない）
- ・ 松ヤニ・粘着スプレー等の使用は禁止。両面テープのみ可。
- ・ 試合開始時刻に顧問教諭（引率責任者）が不在の場合、またはそれに関して何らかの連絡がない場合は、10分間の試合開始遅延後、そのチームの棄権とみなし相手チームに勝利を与える。
- ・ 監督、役員のスリッパでのベンチ入りはご遠慮下さい。
- ・ 試合終了後、記録シートを受け取り顧問に渡すこと。（進学・就職資料）

5 オフィシャル（記録）に際しての注意

- ・ 第1試合については第3試合のチームがオフィシャルを行う。（オフィシャルは30分前に、得点係は10分前に来ること）トーナメント表の上側のチームが記録員、下側のチームが得点掲示員とモップ係を出すことを義務付ける。
- ・ 自チームの試合終了後（2試合目以降）勝利チームより記録員（生徒）4名、モップ係4名を出すことを義務付ける。
- ・ 記録員はハーフタイム時に行われた次試合のトスが終了後、次試合のメンバーを公式記録用紙に記入しておくこと。
- ・ 記録員は試合終了後公式記録用紙を整理する。審判員等のサイン記入後、チーム用シートを各チームに渡し、残り2枚は本部に提出。

6 警報発令時等の緊急連絡方法。必ず顧問が行うこと。（高体連ホームページに掲載）

7 感染予防対策について

- ・ 全試合無観客試合を原則とする。
- ・ 声を出してのウォーミングアップを禁ずる。
- ・ 健康管理は、顧問が本大会に参加する生徒の健康状態を2週間以前から十分に観察する。また、当日は必ず検温を実施し、発熱の症状のみならず、咳や咽頭痛の症状が見られる場合は参加を控えさせる。
- ・ 試合前後のシェイクハンドのセレモニー、チームの円陣を禁ずる。
- ・ ウォーミングアップ時や試合に出場している選手を除き、会場内にいるすべての役員・選手は必ずマスクを着用する。

- 体育館の換気を十分に行う。また、体育館入り口に消毒液を設置する。
- 試合間に試合球の消毒をする。
- 更衣室は更衣時のみ使用とし、指定された場所でのみ待機するものとする。
- タオル、スポーツドリンクの共用はしない。
- 食事をするときは対面にならないように注意する。
- 大会開催後 2 週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合はすみやかに、各地区理事に報告する。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、大会の実施形態が変更される場合は各地区理事から各学校に連絡し、その内容を高体連ホームページに掲載することとする。

3年生は最後の大会です。ケガや事故のないように

悔いのない、高校生らしい大会となるように頑張ってください！